

図書館だより

開館時間（共通）9：00～17：30
 中央図書館 ☎ 0558-76-5566
 葦山図書館 ☎ 055-949-8605
 URL <http://www.izunokuni.library-town.com/>

ピックアップ

一般



みかんとひよどり
 近藤史恵／著
 KADOKAWA

肉を焼くことは対話だ。腕はいいのに、うまくいかないシェフ。人との関わりを避け、自由に生きる猟師。ジビエを通してつながる二人の成長物語。ジビエミステリ。

【中央・葦山】

一般



エスケープ・トレイン
 熊谷達也／著
 光文社

サイクルロードレーサーの小林湊人が所属する仙台のチームに、梶山浩介が加入。世界レベルの梶山の加入でチームは、湊人は、どう変わるのか。王道のスポーツエンタメ。

【葦山】

5月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○ 中央休館日 □ 葦山休館日
 ◇ 両館休館日 ☆ おはなし会

5月のおはなし会

中央図書館 11日(土) 11：00～
 葦山図書館 11日(土) 14：00～
 25日(土) 14：00～
 くぬぎ会館子ども広場
 9日(木) 11：00～

新着本コーナーから

- 一般 ノースライト 横山秀夫／著【中央・葦山】
- 一般 お茶壺道中 梶よう子／著【中央】
- 一般 旅の日川柳 江畑哲男／著【葦山】
- 一般 現場検証 - 平成の事件簿 - 合田一道／著【葦山】
- 児童 月のみちかけ 藤井旭／監修・写真【中央】
- 児童 秘密をもてないわたし ペニー・ジョエルソン／著【葦山】

お知らせ

読み聞かせボランティアが選んだ「読み聞かせにおすすめの本」を展示

こどもの読書週間(4月23日～5月12日)にちなんで、中央・葦山両図書館で展示します。実際に子どもたちの反応を見てきた人たちが選んだ本を、手に取ってお楽しみください。
 展示期間／5月1日(水・祝)～30日(木)

製造業を営む事業所が対象です！

- 2019年工業統計調査 -

工業統計調査は、工業の実態を明らかにすることを目的とした重要な統計調査です。調査結果は、中小企業施策や地域振興などの基礎資料として利活用されます。

調査期日は、6月1日。対象の事業所には、5月中旬ごろから調査員が伺いますので、調査へのご協力をお願いします。

☎ 総務課 ☎ 055-948-1411



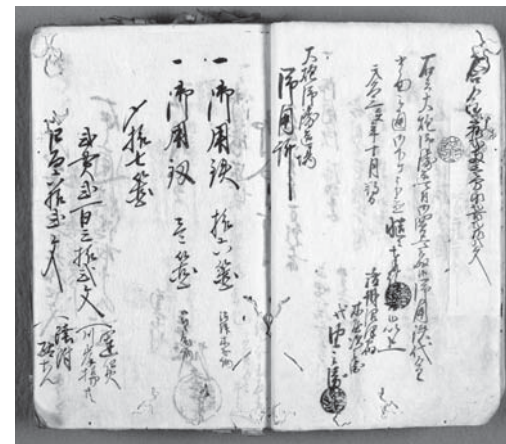
コウちゃん

文化財通信

その167

『葦山反射炉関係資料集』第1巻上下の刊行

☎ 文化財課
 ☎ 055-948-1428



第1巻下所収 野戦評議留式番
 (公益財団法人江川文庫蔵)

平成27年7月に葦山反射炉が「明治日本の産業革命遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録されたから、まもなく4年が経とうとしています。この間、市では、葦山反射炉がイダンスセンターがオープンし、来場者によりわかりやすく見学してもらう環境を整えてきました。また、ライトアップや夜間開館など、新たな取り組みも行っています。

しかし、葦山反射炉について全てが解明されているわけではありません。継続して文献調査や発掘調査を進め、そこから得られた情報を、さまざまな方法で発信していく必要があります。

そのための取り組みの一つとして、市では、公益財団法人江川文庫所蔵の多くの古文書の中から、葦山反射炉に關係するものを抽出し、解読する作業を実施してきました。その成果の一部が、このほど『葦山反射炉関係資料集』第1巻上下として刊行されました。

第1巻には、御用留(幕府勘定所や葦山代官所の江戸役所・葦山役所とのやりとり)、廻状留(反射炉周辺村々などへの指示を伝える廻状の写)、評議留(大砲鑄造にかかるさまざまな経費に関する書類)、日記(反射炉担当役人の勤務日記)を掲載しています。

これらの資料は、反射炉建設に必要なとなる煉瓦や石、大砲鑄造のための鑄物鉄や、燃料となる石炭など、資材の調達、それを運搬するため船や牛馬の手配、大工や鑄物師といったさまざまな職人たちの雇い入れ、大砲鑄造の作業工程など、反射炉に関わる「ヒト・モノ・カネ」について、具体的な様相を見ることができる貴重なものです。

本資料集は、市立図書館で閲覧できるほか、文化財課の窓口で、上下セット3,500円で販売して

います。なお、この第1巻上下に続いて、今年度(令和2年度)に第3巻上下の計3巻6冊を刊行する予定です。

【早雲と葦山城① 早雲の出自】

戦国大名北条氏の初代であり、戦国時代の魁となった北条早雲。かつて、早雲は一介の素浪人から戦国大名に成り上がった人物とされています。しかし、近年の研究で、備中国荏原庄(現・岡山県井原市)の伊勢氏の出身であることがわかってきました。伊勢一族は室町幕府の重臣であり、早雲も伊勢新九郎盛時という名で、9代将軍足利義尚の補佐官「申次」を務めていました。素浪人どころか、むしろエリート官僚だったので、では、その早雲はどのようにして戦国大名となったのでしょうか。(次回へ続く)